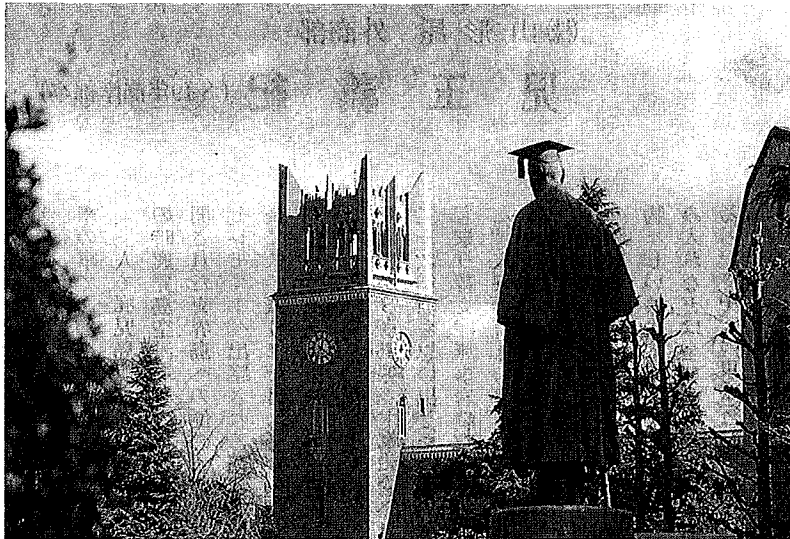


# 8月5日開催

## 早稲田大学エクステンション講演会 校友会鹿児島県支部総会



発行  
早稲田大学校友会  
鹿児島県支部  
住所  
鹿児島市金生町3-1  
山形屋本部秘書室  
☎0992-27-6310(代)



○奥島孝康新総長  
○日比野 弘教授  
（元ラグビー日本代表チーム監督）  
を迎えて

### スケジュール

- 開催日 平成7年8月5日(土)
- 場所 城山観光ホテル  
〒892 鹿児島市新照院町41-1  
TEL.0992-24-2211 FAX.0992-24-2222
- プログラム
  - 第1部 早稲田大学在学生父母会  
(午後1時30分～2時30分)
  - 第2部 早稲田大学エクステンション講演会  
1. 挨拶  
(午後3時～)  
早稲田大学総長 奥島孝康  
2. 講演「ワセダラグビー・荒ぶる魂」  
(午後3時20分～4時50分)  
早稲田大学教授 日比野 弘  
3. 映画「早稲田大学新世紀の扉を開く」  
(午後5時～5時30分)
  - 第3部 早稲田大学校友会鹿児島県支部総会  
(午後5時30分～6時)  
懇親会  
(午後6時10分～)

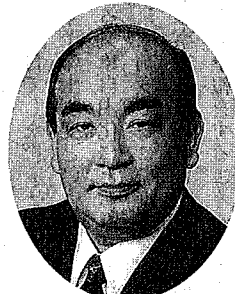
※地元校友とともに総長、講師を囲んでの懇親パーティです。  
在学生父母の皆様のご出席をお待ちしております。

- 主催 早稲田大学  
早稲田大学校友会鹿児島県支部
- 後援 鹿児島県ラグビーフットボール協会  
南日本新聞社 南日本放送  
NHK鹿児島放送局 エフエム鹿児島
- 会費 エクステンション講演会 無料  
懇親会費として校友・父母とも6,000円  
その他事務運営費及び名簿代として1,000円
- 会場 飛天の間 父母会、総長挨拶、講演会  
鳳凰の間 映画、総会、懇親会



日比野 教授

「元ラグビー日本代表チーム監督」を迎えて  
早稲田大学は、創立以来「開かれた大学」を目指し、『早稲田講義録』の出版や「巡回講話」の開催など校外教育に多くの実績を残してきました。その建学精神を受け継ぎ、ユニバーシティ・エクステンション(Extension)が、常識となつていきます。



奥島 総長

とは、拡張・開放を意味する言葉で、大学が広く社会に開放され、展開されている教育学習形態のことです。欧米では百年以上も前から定着している制度で、特に米国では、ほとんどの大学で実施されており、再就職のため、新しい知識・技術の習得のため、あるいは学位取得のために、大学を卒業した人が再び大学へ通うこと(リカレント)が、常識となつていきます。早稲田大学は、創立以来「開かれた大学」を目指し、『早稲田講義録』の出版や「巡回講話」の開催など校外教育に多くの実績を残してきました。その建学精神を受け継ぎ、ユニバーシティ・エクステンション(Extension)が、常識となつていきます。

## 早稲田大学エクステンション センターとは？

ン(大学の研究・教育の成果を広く一般に開放する活動)を本格的に推進する機関として、昭和五十六年四月に早稲田大学エクステンションセンターは発足しました。  
昭和六十三年には、生涯学習局が文部省の筆頭局になるなど、「生涯学習」は今日の時代のキーワードとなつた感があります。こうした社会のニーズに応え、平成三年十二月には、日本初の国際シンポジウム「日米大学生涯学習機関デザイン・サミット」を開催し、二十一世紀に向けての生涯学習に関する意見交換を行うなど、エクステンションセンターは様々な生涯学習活動を展開しています。  
資料請求およびお問い合わせは、早稲田大学エクステンションセンター 〒一六九一五〇東京都新宿区西早稲田一六九一 TEL〇三三三〇八一三四八までどうぞ。

# 娘の進学で甦る思い出

(株)山形屋 外商部

児玉 義紀 (S49年商学部卒)



での東京出張はあったものの、プライベートでの上京は新婚旅行以来の事であった。

三人で鹿児島空港から羽田へこの時鹿児島空港で、この日から再開された喜界島への便のオープンセレモニーへ出席される松元支部長に久しぶりにお目にかかった。羽田からモノレールで浜松町へ、浜松町からJR山手線で新宿駅へ、新宿駅から京王線で千歳船橋へと、二十数年前を思い出しながら何度も乗り替え、無事岩崎寮へ到着した。入寮手続きも終了し、娘の東京での新しい生活がスタートした。

十日程前の「地下鉄サリン事件」の影響で、空港・駅・地下街など、物々しい警戒で、ホームなどごみ入れなどは全てにフタがしてあるという中で東京行きであった。

又々、親バカと思いつつ、四月八日に上京、娘の大学の入学式に出席した。校門から続くサークル勧誘のピラを配る先輩学生達の中を進み、大学構内に入ると、母校早稲田大学とは雰囲気が違うが娘の大学は某国立女子大)二十数年前の学生時代の事など思い出された。特に自分は「同学舎」という鹿児島県の県寮(当時岩崎寮もありました)で生活していた為、寮での生活、大学での生活と、他人の二倍の学生生活であったような気がする。

入学式も学生数が少ない為、こぢんまりとした中でも厳粛に進め

られた。式の途中で自分自身は早稲田大学の入学式には出ないで、その日は一日中まだ決まっていなかった下宿を探し廻っていた事(同学舎へは二年から)などがい出

## 気象予報士になって

南日本放送 ラジオ局ディレクター

住吉 大輔 (H3年法学部卒)



された。娘の大学進学を機に、東京での四年間の学生生活をいろいろと楽しく懐かしく思い出した三月から四月の一月月であった。

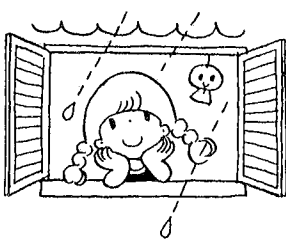
瀬」というように市町村レベル程度の局地予報も出せるようになります。

九五年五月二日。その日は三月に行なわれた気象予報士試験の結果発表の日でした。気象予報士制度というのは、いわゆる気象自由化にもなつて新設された制度で、この資格を取つて気象事業者に認可されると、独自の天気予報をすることができるといふ制度です。今までは、天気予報は気象台だけが行なつてきました。予報も「薩摩・大隅・種子屋久・奄美」というようになっていたものを、この制度によって、例えば「鹿児島・鹿屋・川内・名

さて、五月二日朝十時。私はいつものように、朝のラジオ番組「おはようプラス」のディレクター業務を終え、来週の中継先はどこにしようかな、などと物色しておりました。「東京から電話よ」の声を「なんじやろかい」と取つた電話の主は「気象庁の前田です」。前鹿屋島地方気象台予報課長の前田一郎さんでした。「気象予報士おめでとうございます。やはり鹿児島のことには気になります。いま結果を見てきたところですが、鹿児島からは住吉さんだけでしたよ」。番組の取材などを通して前田さんとは面識があり、わざわざ知らせて下さったのでした。気象には以前から興味があったとはいえ、気象台に勤める方が失敗するような試験です。まさか合

格するとは思っていませんでした。「大変なことになったなあ」これが最初の感想でした。これからあとは、「県内初の民間気象予報士」ということで、南日本新聞の取材を受けたり、ニュースに出たりと慌ただしい日々が続きました。そして、五月十八日。気象予報士制度のスタートの日にあわせて、MBCは全国の放送局のなかで唯一の民間気象事業者、独自予報を出せる放送局として気象庁に認可されました。

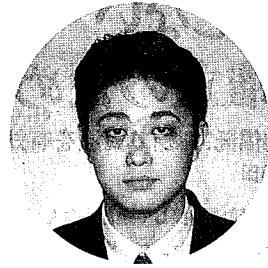
「どんな試験なのかなあ」と、興味本位の軽い気持ちで挑戦した気象予報士の試験でしたが、合格してしまつたことで大きな責任を負うはめになってしまいました。気象の世界だけで生きていこうとは思っていませんが、責任の重さを認識しつつ、これからは勉強を続けていきたいと思えます。そして、防災機関の一端を担うマスコミに関わる人間として、この資格を生かしていけたらと思つています。



# 改めて思う 校歌の意味

鹿兒島県庁 土木部河川課

寺原 衛 吾 (H4年法学部卒)



した。どちらに迷ったが、初めて早稲田を訪れた時と同じように早稲田実業の方面へ出る。夏休み期間なのか、学生の往来は少ない。

夏季休暇を利用して、去年東京へ出かけた。学生の頃よく夏を過ごしていた館山や鴨川など南房総を廻ることが主な目的だったのだが、やはり、早稲田を訪ねる気になった。

学生時代の友人が、日比谷線沿線なので、そこで荷物を下ろし茅場町で東西線に乗り換えた。電車の中には、当時と同じように椿山荘やAVACOブライダルホテルの広告が貼ってあり、恋人を送るとき結婚式は椿山荘にしようかなどと恥ずかしげもなく言っていたのを思い出した。電車は九段下を過ぎた。酔っ払って北の丸公園で野宿し、明け方住民の皆さんとラジオ体操をしたことを思い出す。新緑のまぶしい朝だった。そんなことを思い出しているうちに、電車は神楽坂を通過し早稲田に到着

学生会館にある、当時毎日のように通った喫茶店にはいり、コーヒーを頼みスポーツ新聞に目をおしながら、たてつけに煙草を何本か吸う。喫茶店のマスターは、まだ覚えてくれていてなつかしように顔をほころばせコーヒーをもってくる。

「お元氣そうですね」  
「もちろん」  
カップを口にしたらとき、急に、顔を手で覆って泣きだしたい気持ちに襲われた。この異邦人のような感覚は、同じ時間を共有するものが、いま、ここにだれもないということに原因していると気づいた。いまここにあるのは、過ぎ去った時間をもう一度味わおうと

むなく考えるノスタルジーではない。  
早稲田を訪ねたいと思ったのは、何よりも、あのときの友人達とのくだらない話や、時には激しいやりとりをもう一度感じたいと思っ

たからだったのである。本当は鹿兒島であろうとどこであろうと、早稲田を思い、同じ時間を共有できれば、私にとつて、それが早稲田なのだと思つた。  
集まり散じて人はかわれど、仰

# 非日常的経験

鹿兒島銀行 営業推進部

京田 朋 恵 (H5年第一文学部卒)



すらない(どうも食べられてしまったらしい)、けれども満員電車のような町中に感じた多少の違和感が、唯一「ここは日本でない」と認識させていました。

鹿兒島銀行に入つて、ちょうど二年目が終わろうとする今年の三月、幸か不幸か、仕事で中国へ行くことになりました。青島と上海、二市での商談会のフォローが仕事でしたが、私にしては数少ない、かなり非日常的経験でしたので、締め切り前日の苦しまぎれに少々そのお話を。

そんな状況の中で私の心に一番残ったこと、それは人々のパワー、商売根性です。どんな労も厭わずぶつかってくるパワーに、商談会場は熱くなり、私は夢中で会場内を走り回りながら、その熱気に感動していました。それは上海よりもずっと田舎の青島の方が、明らかに勝っていました。青島の人々は素朴で純情で、商売して金を儲けるといふことに一途な印象を受けました。セッティングがうまくいけば、手を取り抱き締めんばかりにして感謝し、しかし次の瞬間には別の商談相手を探しているのです。たとえ自分の扱っていないものであつても、相手が求めてい

ぐは同じきという校歌の意味を改めて深く感じた。  
そして今度ここに来るときは、友人たちと共に訪れ、新しい時間を共有し、積み重ねたいと思いがら、喫茶店をあとにした。

ると知れば「OK、OK、大丈夫。それは友達がやっている」「親戚がやっている」と、決して諦めようとはしません。彼の地の地縁血縁の強さの表れ、もしくはその場しのぎの言い逃れ、どちらとも判断しかねるところが難点ですが、現時点で信用できるできないは別として、彼らのパワーや情熱が、商売の正しい法則にのっとり、一定の方向へ流れ出すことを考えるとき、私はあの商談会場での感動を思い出さずにはいられません。  
中国はまだまだという意見も聞かれましたが、あのパワーには期待大です。彼らと接触し、商売というものの、信用というものの、ごく基本的な資本主義のルールを伝えていくのが私たちの仕事、そう感じて帰って参りました。  
何だかんだと書き連ねましたが、非日常的な状況では、非日常的な出来事が起こるもので、事実、今回の中国でも、私の人生をこれから大きく変えるであろう出来事が起こったのですが、その話はまた次の機会に譲るとして、今回は、この辺で。

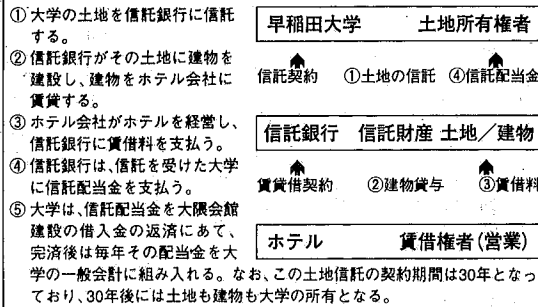


# 学費に依存しない 財政基盤確立のために。

## 「経営」ではなく「土地信託方式」で資産を有効利用 リーガロイヤルホテル早稲田

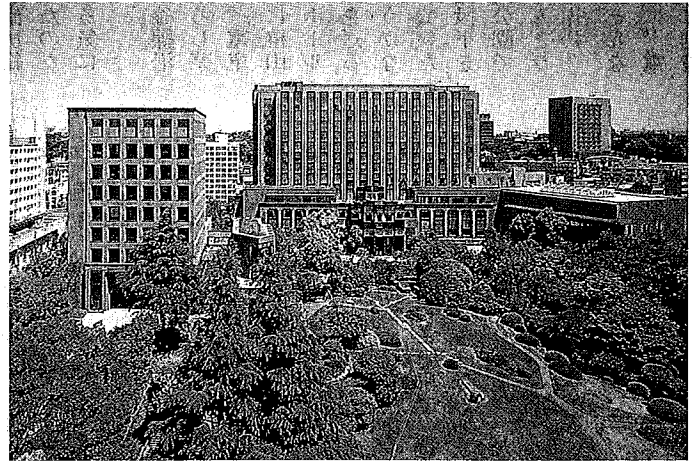
土地信託事業により、大隈会館に隣接して建設された、リーガロイヤルホテル早稲田。コンベンションセンター機能を持ち、国際会議場などで行われた国際会議の参加者や、全国各地にいる校友の集会・宿泊施設として利用されています。

### ■土地信託方式の仕組み



# WASEDA University

校友および  
社会とのコミュニケーション



## コンペ成績表

開催日：平成7年4月2日  
コンペ名：第21回早慶対抗ゴルフ大会  
会場：喜入カントリークラブ

順位	氏名	OUT	IN	GROS	HDCP	NET	順位	氏名	OUT	IN	GROS	HDCP	NET
1位	本坊 浩幸(K)	47	41	88	19.2	68.8	19位	森田 洋一(K)	47	45	92	15.6	76.4
2位	柏木 秀丸(W)	48	51	99	27.6	71.4	20位	田中 健作(W)	54	44	98	21.6	76.4
3位	上原 昌徳(K)	39	45	84	12.0	72.0	21位	上妻 利久(K)	47	50	97	20.4	76.6
4位	樋口 隆三(K)	49	47	96	24.0	72.0	22位	西園 靖彦(W)	50	47	97	20.4	76.6
5位	秋葉 重貴(K)	38	42	80	7.2	72.8	23位	鈴木 正信(W)	53	56	109	32.4	76.6
6位	大西洋 逸(W)	46	50	96	22.8	73.2	24位	中江 和彦(K)	42	48	90	13.2	76.8
7位	岩元 添一(K)	45	42	87	13.2	73.8	25位	本坊 松美(K)	48	50	98	19.2	78.8
8位	西嶋 徹也(W)	47	40	87	13.2	73.8	26位	本坊 修(K)	53	43	96	16.8	79.2
9位	春田 滋(W)	45	48	93	19.2	73.8	27位	浜田 紘一(W)	60	49	109	28.8	80.2
10位	馬場 弘人(W)	36	38	74	0.0	74.0	28位	八尋 雅彦(K)	53	42	95	14.4	80.6
11位	久保 四郎(K)	42	49	91	16.8	74.2	29位	山下 明夫(K)	53	45	98	16.8	81.2
12位	吉富 信雄(K)	44	47	91	16.8	74.2	30位	大津 学(W)	55	53	108	26.4	81.6
13位	川畑 暁一(K)	45	52	97	22.8	74.2	31位	中尾 成昭(K)	48	53	101	19.2	81.8
14位	大西 儀朋(W)	43	45	88	13.2	74.8	32位	川井田 哲(W)	58	48	106	24.0	82.0
15位	川崎 益晴(K)	49	45	94	19.2	74.8	33位	米田 秀也(K)	60	47	107	24.0	83.0
16位	本坊 吉朗(K)	49	53	102	26.4	75.6	34位	田中 幸夫(W)	61	58	119	36.0	83.0
17位	吉田 守(W)	50	44	94	18.0	76.0	35位	正 建二郎(K)	62	53	115	31.2	83.8
18位	堀内 憲夫(W)	54	46	100	24.0	76.0	36位	内村 二郎(K)	58	54	112	25.2	86.8

# 早稲田三連勝ならず

## 第21回早慶対抗ゴルフ大会

絶好のコンディションの中、十一回目の早慶戦が四月二日(日)行なわれた。連勝中の早稲田に対し、慶応側は岩元恭一キャプテン

が強引とも思われる選手の動員を行ない、必勝体制に万難を排していた。一方、早稲田は中心選手が相次ぎ抜ける中、三連勝に意気込

んでみたものの、参加人数に勝る慶応の重圧に耐えかね、久しぶりの敗北を喫した。しかし、個々の成績においては、馬場弘人氏がグロス74というすばらしいスコアでまわられるなど、調子は自軍上向きであると感じた。

通算成績では七勝十四敗と突き放されたが、秋に向け打倒慶応の意気高らかに次回を大いに期待する次第である。

### 編集後記

厳しさと学生もかなわぬ程のバライティーで有名な奥島新総長、また名選手・名監督として歴戦を勝ち抜き、日本ラグビーの顔とも言われる日比野教授をそれぞれ迎え、八月五日(土)に開催される支部総会では、お二人の豊かな経験を土台とした示唆に富んだお話を期待されます。多くの校友の皆様のご参加をお待ちしています。

### 会報委員

- 吉田 守 久保 英司
- 辛島 史朗 大西 儀朋
- 宮里 幸弘 始良 一徹
- 西青木 亨

